

知って安心！中心静脈カテーテル（CVC）管理研修

8月26日（月）2～3年目看護師対象で本研修を開催しました！

【研修目的】 中心静脈内注射中の管理を安全に行うことができる

- 【研修目標】
1. 中心静脈内注射の目的を述べることができる
 2. 中心静脈カテーテル関連の合併症を述べるができる
 3. 中心静脈カテーテルの構造がわかる
 4. 中心静脈カテーテル関連のインシデントがわかる
 5. 中心静脈カテーテル挿入部の観察ができる
 6. 中心静脈カテーテル管理に必要な対応ができる



講義：1 安全な中心静脈カテーテル管理

当院で発生しているCVCに関するインシデント事例から、安全管理の目線で具体的な管理をご講義いただきました。

カテーテルの構造や解剖を理解して、適切に管理しましょう！

命に関わる重大事故につながる空気塞栓！！

- ・ CVカテーテルやAプラグ接続部の正しい操作
- ・ CVカテーテル抜去時は坐位で抜去しない
- ・ 抜去部は密封性の高いドレッシング材で覆うなど、正しい方法や手順を理解して、患者さんを危険から守りましょう！



講師：安全管理部 江副智美看護師長

講義：2 中心静脈カテーテル関連血流感染予防

2024年度は、CVカテーテル関連血流感染症が年々増加傾向にあり、患者さんの予後や入院期間の延長にも関わるため、感染管理の面からもご講義いただきました！

慎重な無菌操作と丁寧なカテーテル管理が重要になります！

中心静脈カテーテルを入れ替えたり、末梢ラインへ切り替え時は、輸液ラインは**全て新しいものに交換**しましょう！

患者さんの全身状態から感染兆候を把握！

- ・ 速やかな報告と対応
- ・ qSOFAの記録と評価も大事！



講師：感染制御教育センター 寺坂陽子看護師長



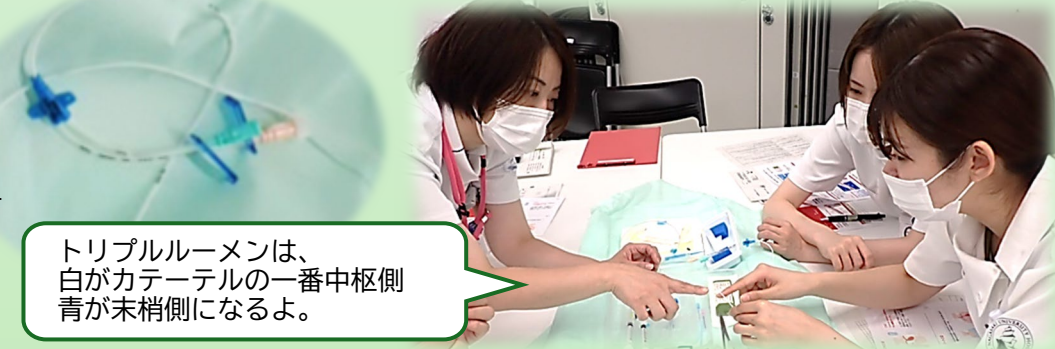
演習：1 中心静脈カテーテルの構造について

CV取り扱い業者の方より説明を受けて、実際に触ってCVCの構造を知ること、必要な観察ポイントを学びました。



講師：CV取り扱い業者

トリプルルーメンは、白がカテーテルの一番中枢側、青が末梢側になるよ。



中心静脈の輸液ライン交換時には、Aプラグから外さないように注意して接続部を操作しましょう！



演習：2 中心静脈カテーテルの観察・管理の実践とトラブル対応

①点滴ルートから中心静脈カテーテル挿入部まで、順番に指でたどりながら観察項目と観察の根拠を確認しました！

未使用のカテーテルは、逆血の有無も確認する！

輸液ラインからカテーテル挿入部まで指でたどり確認しよう！

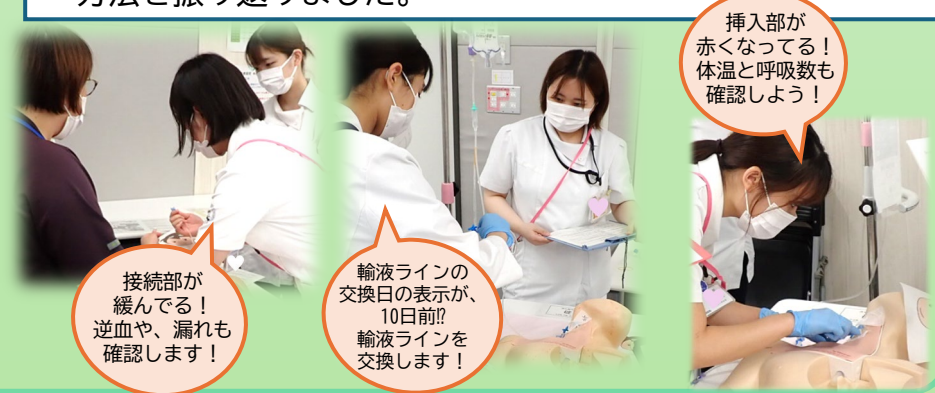
輸液ラインの交換日を確認！7日毎の交換を確認する！

②起こりうるトラブル場面を再現し、実際に対応することで接続部や挿入部、患者の状態などの観察ポイントと対応の方法を振り返りました。

挿入部が赤くなってる！体温と呼吸数も確認しよう！

接続部が緩んでる！逆血や、漏れも確認します！

輸液ラインの交換日の表示が、10日前！輸液ラインを交換します！



受講者からのご意見・ご感想（原文のまま、一部抜粋）

- ・ ルートの接続部のゆるみや固定のテープの日付けの確認などできてない時があったため忘れずに実施していかなければいけないと思った。
- ・ 死亡事例もあるのでCV管理は確実にやる必要があると感じた。
- ・ おかしいなと思ったらすぐに報告相談をしようと思った。
- ・ 空気塞栓のインシデントは生死に関わるので安全に注意して観察していきたいと思いました。
- ・ 挿入部だけ確認するのではなく、全身状態の観察などを行っていききたい。

部署のみなさまへ

本研修では、安全管理と感染管理及びカテーテルの構造面から、中心静脈カテーテル挿入中の患者のインシデント事例と観察のポイントを学びました。臨床では、適切に観察できているか、一緒に確認を行ってください。関連するトラブルがあった際の対応についてもご指導をお願いします。また、今回は、4名の研修支援者にもご協力いただき、臨床での経験を活かした指導を行って頂きました。お忙しい中、ありがとうございました！

eラーニングのお知らせ

本研修の講義動画を、「イントラネット>ビデオ研修」に掲載しております。部署での学びに是非ご活用ください。